



若葉

学校だより
令和6年1月10日
野田市立東部中学校
第9号



米(よね)こぼす～「(冬季休業前集会での)宿題」の答え合わせ～

校長 横川 徹

昨年12月20日付、読売新聞「KODOMO俳句」欄の「季語講座」より。

米こぼす けっしてお米をこぼすわけではありません。何かを米粒にたとえた季語です。それは何かな…。正解は、涙。「泣く」という言葉は縁起がわるいので、新年の間は「米こぼす」と言いかえます。できれば新しい年ののはじまりには、うれしいことで米こぼしたいですね。

この、縁起が悪いとされる言葉のことを「忌(い)み言葉」と言います。「忌み」とは「嫌う」ということで、昔の人たちは、縁起の悪い言葉をハッピーな言葉に置き換えてきました。

例えば、「する」はお金を無くすという意味のため、居酒屋など飲食店では、「するめ→あたりめ」「すり鉢(ばち)→あたり鉢」と呼びます。また、「刺す」には怖いイメージがあるので「刺身(さしみ)」ではなく、「おつくり」です。結婚式などのお祝いの席では「終わる」を避けるために「お開き」という言葉が使われます。「(花びらが)散る→舞う」も同例です。

このように、縁起がよいとされる言葉を使ったり、食べ物を食べたりすることを「ゲン(験)を担(かつ)ぐ」と言いますよね。

最もポピュラーなのは、「カツ(=試験や試合に勝つ)丼」でしょうか。12月20日の給食も、「冬至に『ん』の付く食べ物を食べると幸運(こううん)になる」という言い伝えを踏まえて、りんじん・南瓜(なんきん)=かぼちゃ・ほうとううどん・みかんが食材として使われていました。では、そろそろ答え合わせです。



Q1: 大晦日(おおみそか)に「そば」を食べるのはなぜですか?

A1: そばは細くて長いため、そばのように寿命が延びて長生きできるようにと祈願したから。

また、そばはうどんなどに比べて切れやすく、その年の苦労や悪縁などの災厄と縁が切れると考えられたから。江戸時代はつなぎのない「十割そば」が主流で、現在一般的なつなぎを用いたそばより切れやすく、災厄を断ち切るという意味合いによりマッチしていたようです。

Q2: お正月に「おせち料理」を食べるのはなぜですか?

- A2: 栗きんとん→「きんとん」は漢字で「金団」。金運を呼ぶ縁起物。
- 黒豆→日に焼けて黒くなるまでマメ(勤勉)に働けますように!
- 昆布巻き→「喜ぶ=よろ昆布」の語呂合わせ。
- レンコン→たくさんの穴が開いていることから、将来の見通しがよい。
- だて巻き→形が巻物に似ていることから、知恵が増えて賢くなりますように! 学業成就。



この他にも、ウインナー・おむすび・タイ・タコ・とり天・いよかん…。

受験生の3年生だけでなく、1・2年生の皆さんも、保護者の皆様も、「信じる者は救われる」を信じて、ゲン担ぎしてみたいかがでしょうか(少しばかり、お気楽過ぎたでしょうか!?)

新しい年「令和6年」が始まりました。本年も、保護者の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

1月の行事予定

- 5 (金) 学校費口座振替日
- 8 (月) 成人の日
- 9 (火) 休業明け初登校 (給食なし)
校内席書大会 (1・2年生)
税の作文市役所展示 (市研1F~1/16)
- 10 (水) 実力テスト6 (3年生)
- 15 (月) スクールカウンセラー来校日
- 16 (火) 低線量X線検診 (二次)
私立入試事前指導
- 17 (水) 千葉私立入試集中日 (3年生授業なし)
- 18 (木) // (//)
- 20 (土) 葛北新人駅伝 (予備日翌日)
3校合同児童生徒作品展 (東部公民館~1/25)



- 21 (日) バレーボール葛北1年生大会予選
*本選は2/4 (日) 実施
- 22 (月) スクールカウンセラー来校日
- 24 (水) 2年生給食後に下校
明るい選挙書き初め展
(市研1F ~1/30)
- 25 (木) ウィンタースクール
(2年生 ~1/27)
*福島県南会津台鞍スキー場
- 27 (土) 土曜授業 2年生帰校予定17:00
- 28 (日) ソフトテニス1年生 (U-13) 県大会
- 29 (月) ウィンタースクール代休 (2年生)
スクールカウンセラー来校日



校内席書大会

校内席書大会は今年度も先生をお迎えし、3年生は12月末に、1



・2年生は昨日1月9日に実施しました。毎年のことながら、全員が一心に筆を走らせる様子には、静かな迫力が感じられます。講師の先生からは「みなさん集中力があって、短時間でしかたけれど上達が早いですね。」とお褒めの言葉をいただきました。先生は練習の時間から、一人一人の生徒に必ず声をかけてくださり、生徒たちの心に残る時間となりました(写真左下)。

ここで手がけた作品は、授業や自宅で書いたものと合わせてベストを自選し、千葉県小・中・高等学校書き初め展覧会に出品します。また、校内の廊下には学級ごとに生徒全員の作品を、2月の半ばまで掲示します。



～保護者の皆様へ～

○前期にご協力いただきました「学校評価」について、結果を知らせします。

質問項目	(右の数値は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合)	生徒	保護者	学校評議員
1 東部中が好きだ。(保護者・評議員は「通わせてよかったと感じる。」)		96%	99%	100%
2 授業にしっかりと取り組んでいる。(保護者・評議員は「そのように感じる」)		96%	88%	100%
3 家庭学習にしっかりと取り組んでいる。(評議員は「そのように感じる」)		83%	68%	100%
4 生徒会・委員会活動、行事など授業以外の活動も活発である。(//)		92%	96%	100%
5 東部中の生徒は仲間を大切にしている。(//)		97%	94%	100%
6 部活動に楽しく、または一生懸命に取り組んでいる。(//)		92%	93%	100%
7 教職員は良いところをほめ、悪いところを叱っている。(//)		97%	88%	100%
8 学校はお便りやマチコミメールやHPで、情報を家庭に伝えている。		96%	96%	100%
9 感染予防の行動がとれている。(保護者・評議員は「学校の対策を信頼している。」)		89%	88%	100%

どの項目についても概ね望ましい状況がうかがえます。保護者の皆様や地域にお住いの学校評議員の皆様からは、貴重なご意見を多数いただきました。今後も個々の思いに寄り添う指導を心がけてまいります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。なお、例年同様に後期も2月に同じ質問項目でアンケートを継続実施し、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。